

いちごの王国とちぎから



初心

2014年新春号

平成26年1月発行
年2回刊

題字/福田富一 書

〈発行所〉

福田富一
暮らしと政治研究所

〒320-0026
宇都宮市馬場通り2丁目1番12号
TEL 028(633) 1111
http://www.tomikazu.com

知事在職10年目を迎えて！

栃木県知事 福田富一

お陰さまで今年は知事在職10年目の年となりました。『光陰矢の如し』であります。改めまして、長きにわたり応援して下さい多くの皆様へ、心からなる感謝と御礼を申し上げます。

本年も県民の皆さまと手を携え、「元気度 日本一 栃木県」の実現に向け、全力を傾注して参る決意でございます。今後とも変わらぬご指導、ご支援を宜しくお願い致します。

《さのまるがグランプリ》

さて昨年は、ゆるキャラグランプリ2013において、「さのまる」が見事120万4255の得票数にて、逆転でグランプリを獲得しました。もうひとつのグランプリは、全国の参加キャラ1580体の中で50位以内に栃木県が6体入り、これまた全国1位になった。(県内は33キャラが参加) ちなみに、大田原市「与一くん」5位、宇都宮市「ミヤリ」29位、矢板市「ともなりくん」42位、小山市「開運★おやまくま」44位、栃木県「とちまるくん」46位、

58,594票でした。今年も栃木県からグランプリを誕生させましょう。

《とちぎの地元の酒で乾杯を推進する条例》

1月1日よりこの条例が施行になった。ふるさと栃木県を愛し、誇りを持ってもらえるよう、宴会では大いに地元の酒で乾杯をして欲しい。日本酒・ウイスキー・地ビール・ワイン・焼酎など、県内各地で生産されているし、アルコールが苦手な方は、地元のリングゴやゆずジュースでも良いと思う。要は、飲み物も、酒の肴も、生活用品も地元の物を活用するという気運の醸成を目的としている。

《ブランド力の向上》

NHK放送研究所が平成8年に行った「土地のことばに対する意識調査」によれば、土地の言葉への愛着度と誇り度は密接に関係している。土地の言葉が好きであり、誇りに思うという県は、ブランド力がトップの北海道、2位の京都府、3位の沖縄県、5位の大阪府であり、嫌いで恥ずかしいは、47位の茨城県、45位の栃木県、44位の福井県という結果になっている。

そのブランド力の評価項目は、独自性、愛着度、購入意向、訪問意向、居住意向などだが、県民への調査結果は、44位、42位、33位、37位といずれも下から数えた方が早い。

すなわち、栃木県民が栃木県を評価していないことが最も大きな要因なのである。栃木の良いところを積極的に見つけ出し、磨きをかけ、大いに好きになりましょう。

《2巡目国体等に向けて》

1月28日～2月2日まで、聖地日光において18年ぶり8回目の「冬季国体」が開催。10月4日～7日は、60歳以上の人の国体である「ねんりんピック栃木2014」が、県内20市町で開催され、全国から1万人を超える選手役員が本県を訪れる。

2017年には「全国技能五輪」「アビリンピック」(障害者の技能五輪)、2020年には「東京オリンピック」「パラリンピック」、2022年には2巡目「栃木国体」「全国障害者スポーツ大会」と続く。

それらのイベントが成功を収めていくためには、ハード・ソフト両面での「おもてなし度」のアップ、スポーツなどにいそしむ機会を増やすなどにより、県民の健康度を高め、障害者の自立の促進やバリアフリー社会の構築、更なるボランティア社会の実現など、県を挙げて着実に取り組んでいかねばならない。数年後は、栃木が大きく変身を遂げる絶好の機会をまさに迎えたのである。さあ皆さん、共に頑張りましょう。結びに『無事は名馬』が何より一番、今年も健康第一に過して参りましょう。感謝。

農産物の輸入規制解除を要請

福田知事 大使館などで観光PR

福田知事は12月4日、都内の中国大使館、香港駐東京経済貿易代表部を訪れ、農産物の輸入規制解除を要請するとともに、本県観光をPRした。

本県が定期モニタリング検査の結果を届けていることなどを評価し「輸入制限解除は本国、政府に伝える」とのこと。「成果はあった」と福田知事。

香港代表部で福田知事は、黄碧兒主席代表に「観光誘客の取り組みや本県産品の輸入規制措置の早期解除にお力添えを」と要請。黄首席代表は、引先。福島第1原発事故



黄首席代表に規制解除を要請する知事

福田知事は10月31日から11月2日の日程で、県議会の三森文徳議長をはじめとする県議会議員団（下記写真）と香港を訪問した。

到着初日、知事は在香港日本国総領事館の野田仁総領事を訪問し、香港政府の栃木県に対する農産物等の輸入規制が一刻も早く解除されるよう協力を依頼した。

香港で本県の魅力PR

2日は、プラザハリウッドで開催されている「とちぎのいいもの物産展in香港」を訪れ、本県のPRを行った。知事は来場者に向けて「物産展を通じ、栃木県産品と栃木県の観光資源の魅力を十分感じて頂き、ぜひ栃木県にお越し下さい」と挨拶した。



いちご王国の王様登場

知事、スカイベリーをPR

高級ブランドとして売り込む新品種のイチゴ「スカイベリー」のPRイベントが12月5日、東京都渋谷区の渋谷ヒカリエで開かれた。タレントの安めぐみさん、すみれさんをゲストに招き、テレビやスポーツ紙など34社が集まった。イベントは県が、「いちご王国」とちぎから「メリーベリ



ークリスマス!!」と銘打って企画した。真っ赤な装束の「いちご王国」の王様に扮した福田知事の号令で、スカイベリーを抱えた安さんが大きな箱の中からサンタクロースとして登場。金色のドレス姿のすみれさんと3人でイチゴを試食した。福田知事が「大粒、おいしい、美形」と紹介すると、イチゴ好きを自任する安さんは「本当に甘くて、こんなにジューシーなイチゴは食べたことがない」と笑顔をみせた。また、すみれさんが「こんな宝石みたいなイチゴは初めて」と驚き、福田知事は「17年かけて開発した、

10万株以上の選抜を繰り返してたどり着いたのがスカイベリー。高級イチゴとして新たなスターに育てていきたい」と説明した。

小粒は低価格で県内に

「スカイベリー」の流通戦略について、福田知事は5日、6段階ある規格の中で最上級のSEを首都圏向けのブランド品に、比較的小粒なものは低価格で県内向けに出荷するといった2方向で展開する考えを、都内で記者団に語った。

福田知事は「高級品として高価格で売り出すものと、消費者に手軽に食べていただくものとは分けていく。首都圏向けのものは厳選することになる」と述べた。

「栃木力」で情報発信強化を

安心安全で意見交換

とちぎ元氣フォーラム in 鹿沼

福田知事が市町に出向いて県民と県政について意見を交わす「知事と語ろう!とちぎ元氣フォーラム」が12月14日、鹿沼市民情報センターで開かれ、市民ら70人が参加した。

福田知事は、本県の県民所得が全国上位であるにもかかわらず、ブランド力は最下位クラスであることを指摘。「栃木弁を嫌い、恥ずかしいと思う県民の多いことが情報発信力が低い原因」とし、「地元の言葉に誇りを持つて伝えることが必要」と話した。



ネット動画で県PR

テレ朝「お願い!ランキング」とコラボ県とテレビ朝日のバラエティ番組「お願い!ランキング」が共同で栃木県のプロモーション映像を制作し、12月20日からネット上で配信を始めた。「メジャーじゃないけど意外とすごい!」をコンセプトに、県の魅力を「スポット編」と「グルメ編」の2種類(各5分)に分け、番組のキャラクター「おねがい戦士」がそれぞれの名物トップ3を取り上げる。映像には「栃木がついにメジャーデビュー」と拳を握る福田知事の姿も。インターネットや都内の大型ビジョンで公開している。

国保見直し協議へ決意

全国知事会議

全国知事会議が12月19日、東京都内で開かれ、社会保障常任委員長の福田知事は、国との国民健康保険(国保)制度の見直し協議再開決定を報告し「都道府県になし崩しに財政責任や負担が押しつけられることのないよう、さらに持続可能な制度の構築を目指して議論を進める」と決意を述べた。

全国知事会議は今月初め、社会保障制度改革に関するプログラム法の改正案を検討する国保基盤強化協議会への参加を決定。協議は来年1月にスタート。福田知事ら地方代表と厚労省政務三役による政務レベル、栃

木県などが参加する毎月1回の事務レベルで実施。7月の中間まとめを目指す。

「山の日」制定 協力要請

また福田知事は「祝日『山の日』の制定に向け、国民的議論を盛り上げるためには地域での取り組みが大事。各県で協議会の立ち上げなどで協力をお願いしたい」と発言した。

食品輸入制限早期解除を

北関東磐越5県知事会議

本県や新潟、福島、群馬、茨城の5県の知事が集まる「第9回北関東磐越5県知事会議」が8月1日、新潟県上越市のホテルで開かれた。



北関東磐越5県知事会議に参加した福田知事(右端)

会議で福田知事は農畜産物の輸入制限について「早く問題を解決すべきだ。国がリーダーシップを発揮してほしい」と、輸出再開の早期実現のほか、その取り組み過程などの情報開示も国に求めた。

9月28日、第68回国民体育大会「スポーツ祭東京2013」の総開会式を前に氣勢を上げる本県選手団と福田知事(前列中央)



東奔西走の日々

◇7月30日 宇都宮・小山地区ブロック別市長村長会議／6市町の首長が知事と意見交換。
◇7月31日 東京で「とちぎ企業立地・定着促進セミナー」／本県PR、さらなる企業立地促す。

◇8月6日 富士重工業群馬製作所で「とちぎ技術展示商談会inスバル」／「一つでも多くの技術や製品が商談に結びつく」と期待する。
◇9月11日 矢板・寺山ダムで「ダムエスコ事業」の発電開始式／「新たな電力を提供でき、ダムの電気を減らすことでCO2発生を抑え、管理費も減らす計画」

◇9月26日 ねんりんピック本県選手団結団式／「鍛錬の成果を発揮し、全国の選手と大いに交流して欲しい」
◇9月28日 東京国体本県選手団現地激励会／「悔いのない大会にしてほしい」とエールを送る。

◇9月29日 県道大桑大沢線(大沢バイパス)の全線開通式／「杉並木の保全や地域経済の活性化につながる」
◇10月1日 赤い羽根募金開始／知事が田村厚労相のメッセージを代読。
◇10月3日 全国障害者スポーツ大会本県選手団結団式／「心に残る大会にしてほしい」と手話を交えて激励。

◇10月10日 日光国体100日前イベント開催／「日光や栃木をPRできる機会。来県する方をおもてなしを」
◇10月19日 「とちぎ・食と農」ふれあいフェア／「安全でおいしい栃木県の本物の味をご賞味願いたい」
◇10月29日 首都圏へ本県観光PR／「この機会にぜひ栃木ファンになっ

ていただきたい」と力を込める知事。
◇12月11日 宇都宮市中心街で特別パトロール／「事件・事故を減らすには目に見える活動が大切」と呼掛け
◇12月21日 国道408号真岡宇都宮バイパス開通式／「地域への経済効果の拡大が期待される」と式辞を述べる。

宇賀耶・海老沼・高藤・萩野 各選手

県スポーツ功労賞を授与

ブルガリアで開かれた聴覚障害者のスポーツの祭典「第22回夏季デフリンピック競技大会」にバレーボール女子日本代表として出場し銀メダルを獲得した栃木市出身の宇賀耶早紀選手に8月30日。

ブラジル・リオデジャネイロで行われた第31回世界柔道選手権大会の男子60キログラム級で金メダルを獲得した下野市出身の高藤直寿選手に9月24日。同じく男子66キログラム級で、2連覇を果たした小山市出身の海老沼匡選手に10月2日。

今夏にスペインで行われた水泳世界選手権で、400メートル自由形と200メートル個人メドレーで銀メダルを獲得した小山市出身の萩野公介選手に10月16日。それぞれに知事特別表彰の「県スポーツ功労賞」が贈られた。海老沼選手と萩野選手の受賞は2度目となる。



知事から表彰状を受取り記念撮影する、高藤選手(写真右)と萩野選手(写真左)

ねんりんピック一年前イベント開催

60歳以上を中心に、あらゆる世代がスポーツを通じて交流を深めるカウントダウンボードを点灯する知事



「全国健康福祉祭とちぎ大会(ねんりんピック栃木2014)」の開催まで1年を切った10月5日、県庁で1年前イベントが行われた。

ねんりんピックは平成26年10月4日〜7日、県内20市町でテニスやフットボールなどのスポーツから囲碁、将棋などの文化交流まで、24種類が実施される。

イベントでは、開催までの残り日数を表示するボードを、福田知事と県のマスコットキャラクター「とちまるくん」の手で点灯。ボードはオンライン通りに設置される。

戸田恵子さんをお迎えして

文化講演会

9月27日(金)、女優の戸田恵子さんをお迎えして恒例の文化講演会が、宇都宮グランドホテルを会場に700名余の参加者を得て開催された。



女優でもあり、歌手でもあり、声優でもある戸田恵子さんは「女優百貨店」と題し講演。生い立ちから家庭環境、現在に至るまでの様々な経験を踏まえ、ご自分の仕事をフロアに見立てて「私の目指す女優は、老舗のようにひとつのもののへのこだわりではなく、色々な品揃えのある百貨店です」とお話になった。

また、アンパンマンの声優としても有名だが、30歳代で受けてから26年間続いており、アンパンマンワールドから教わる事が多く、この役を頂いて良かった、と戸田さん。何事にも前向きで、明るく元気にチャレンジ精神を忘れない生き方に聴衆は魅了され、有意義な文化講演会となった。

1500名の参加者を迎えて

もちつき大会

12月1日(日)、今年で31回目となる恒例の『もちつき大会』が今宮公園で開催され、延べ1500名が来場された。

前日から地元の陽光地区後援会の皆様が手際よくたくさんの材料を準備して下さり、当日は朝7時から大きな鉄鍋3つにけんちん汁を作り、あんこ、きな粉、納豆、おろしなどを塗ったつきたての餅、しぼりたて牛乳、綿あめ等を準備して皆様をお待ちしたが、家族づれなどが次から次へと訪ねてこれ、11時を待たずにスタート。餅がつきあがる



材料の大根をおろす福田知事(左)と高橋克法さん(中央)

ごとに長蛇の列ができ、180kg用意されたもち米はまたたく間になくなり、終了の時間を待たずに品切れとなる大盛況ぶりだった。

知事就任の日を記念して

知事と語る会



11月19日、「知事と語る会」が宇都宮グランドホテルを会場に、120名余の参加者を得て開催された。

冒頭で知事は、これからも

「栃木に住んで良かった」と言われるような県にしていきたいと挨拶。そのためには県民一人ひとりが郷土に誇りと自信をもち、ブランド力を高めることが必要と話した。

また今年は栃木県生誕140年の節目の年であることや、2014年1月には18年ぶりに日光で「冬季国体」が開催されること、10月には「ねんりんピック栃木」、2017年には「技能五輪」、2022年には2巡目「国民体育大会」など、数々の大会が開催されることにも触れ、今後栃木県のトップセールスとして頑張っていきたいと結んだ。参加者からは新聞で伝わりにくい事柄がよく理解できたなどの感想が寄せられた。

2014年 半年間の行事予定



ゆりの会のシンボルマーク

ゆりの会新年会 (女性のみ)

日時: 2月9日(日)

AM 11:00~

場所: ホテル東日本宇都宮

会費: 5,000円

※ゆりの会は、福田富一知事を支援する女性の会です。毎年、2月の日曜日に『ゆりの会新年会』を秋に講師の先生をお招きしての『文化講演会』を開催しております。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

ハイキング

日時: 5月下旬~6月上旬

場所: 未定

主催: ハイキング愛好会

※会員の皆様には、日時・場所等決まり次第ご連絡致します。

『福田家の茶の間』

今年の元旦も夫と共に皇居・正殿松の間での「新年祝賀の儀」に参列させて頂きました。(写真は皇居前広場にて)。天皇皇后両陛下をはじめ皇族方がご退室された後の松の間を感慨深く見ていると、いつも静かに立っている職員が宮殿の説明をして下さいました。松の間は正殿の中央にあり、親任式や勲章親授式、歌会始の儀などの主要儀式のほとんどが、この松の間で行われること。最近ではケネディ駐日大使の親任式が行われたこと。



新年早々ですが、私の父が1月8日に亡くなりました。18日の誕生日を迎えることなく、84歳での旅立ちでした。選挙のたびに候補者の義父として挨拶に歩かせて頂き、伺った先々で良くしてもらったお世話になったといつも感謝しておりました。

した。

父は寡黙で不言実行の人でした。家族のためにひたすら働いて逝った父の一生。「もっと何かしてあげたのではなか」といふ後悔の念と、見守ってくれる人を失った喪失感とが入り混じった複雑な思い。子どもにとつて親は永遠なのだと思えて実感しました。

宮殿は昭和43年10月に完成したが、その建築資材のほとんどが国産のもので、当時の全国知事会がそれぞれの県の特産品を寄贈して造られたことなど。「栃木県産材は何が使われているのかしら」などと夫と話しながら、皆様の心遣いが嬉しく、清々しい新年の幕開けとなりました。

ふさぐ私を夫は「父にしてもらったことをこれから子ども達にしてやればいいんだよ」と慰めてくれました。長い間お世話になりました。ありがとうございます。

編集後記

福田知事は1ページ

の挨拶文にも書いていたが、今年知事就任10年目を迎えた。知事就任後再刊した『初心』も新春号で18号となった。

改めて半年分のスクラップブックを読み返してみると、知事は相変わらず忙しく、栃木県の知名度アップのために東奔西走する姿が読み取れる。

『初心』はこれからも、知事の県政への取り組みや思い、日々の出来事などを分かり易くまとめた皆様にお届けして参ります。ご一読されご理解いただければ幸いです。

◆福田富一後援会総連合会事務所
◆福田富一暮らしと政治研究所
宇都宮市馬場通り2-1-12
電話 028(633)1111
FAX 028(633)1110